



つくば市総合運動公園:住民投票 8割の反対票「重い」 中止の可能性も /茨城

毎日新聞 2015年08月06日 地方版

2日投開票されたつくば市の総合運動公園計画の是非を問う住民投票は、反対票が投票者数の8割を占める一方的な結果となり、賛成、反対両陣営から驚きの声が上がった。約305億円をかける大型公共事業は「必要ない」と判断したといえる。市原健一市長は2日夜の記者会見で、計画の白紙撤回に言及したが、反対票が圧倒的だったことから、計画の「見直し」にとどまらず「中止」の可能性も出てきた。

「(反対票が)ここまで入るとは思わなかった。真摯(しんし)に、厳粛に受け止める」。市原市長は2日夜の会見で、結果を重視する考えを示した。今月中に結論を出し、来月の市議会定例会に報告するという。

投票日前は結果がどうあれ、今後アンケートを実施し、見直す方針を示していた市原市長。だがこの日は「アンケートよりも、白紙撤回をするか、しないかを考えるのが現実的だと思う」とトーンダウンし、アンケートを実施するまでもなく白紙撤回する可能性を示唆した。3日も毎日新聞の取材に対し「あれだけの(反対)票には重みがある。白紙撤回を考える」と強調した。票差を考えると、計画の見直しにとどまらず、一気に中止を決断する可能性も出てきた。仮に中止となった場合、既に内定している19年茨城国体の競技会場をどうするのかという問題も浮上する。

一方、計画に反対してきた「総合運動公園建設の是非を住民投票で問うつくば市民の会」の松本栄次共同代表は2日夜、「5万～6万票はあくまでも目標だった。サプライズだ」と喜びをかみしめた。永井悦子共同代表も3日、取材に対し「『住民投票の機会を作ってくれてありがとう』など朝からたくさんの電話をもらった。これからも議会や市の動きを見届けていく」と語った。【庭木茂視】

=====

◇つくば運動公園住民投票 開票結果＝選管最終発表

反対 63482

賛成 15101

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.